

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 小学校

#### (1) 学校数

学校数は147校(本校140校、分校7校)で、前年度と同じである。

#### (2) 学級数

学級数は1,610学級で、前年度より12学級減少した。

#### (3) 児童数

児童数は32,216人(男16,417人、女15,799人)で、前年度より372人(Δ1.1%)減少した。

#### (4) 教員数(本務者)

教員数は2,534人(男1,028人、女1,506人)で、前年度より6人減少した。

なお、教員数の中には、特別支援学級担当教員255人のほか、産休代替教員16人、育児休業代替教員13人、指導主事11人、教育委員会事務局等勤務者・その他14人、留学者・海外日本人学校派遣者34人、休職・休業者54人が含まれる。

本務教員中女性教員の占める割合は59.4%で、前年度より0.1ポイント上昇した。

表1 学校数・学級数・児童数・教員数

(単位:校、学級、人、%)

区 分	学 校 数		学 級 数			児 童 数		教員数(本務)		女性教員 構 成 比 ( )内全国
	総数	うち本校	総数	うち複式	うち特別 支援学級	総数	うち女子	総数	うち女性	
平成18年度	169	153	1,675	43	226	34,287	16,807	2,674	1,609	60.2 (62.7)
平成19年度	164	149	1,640	44	228	33,591	16,326	2,616	1,568	59.9 (62.7)
平成20年度	162	149	1,637	44	243	33,339	16,254	2,596	1,544	59.5 (62.8)
平成21年度	149	140	1,610	29	261	32,762	16,016	2,532	1,502	59.3 (62.8)
平成22年度	147	140	1,622	27	257	32,588	15,871	2,540	1,507	59.3 (62.8)
<b>平成23年度</b>	<b>147</b>	<b>140</b>	<b>1,610</b>	<b>26</b>	<b>255</b>	<b>32,216</b>	<b>15,799</b>	<b>2,534</b>	<b>1,506</b>	<b>59.4 (62.8)</b>

#### (5) 理由別長期欠席者数(平成22年度間)

平成22年度中に通算して30日以上欠席した児童は263人で、前年度より1人(0.4%)増加した。

主な欠席理由のうち「不登校」は109人で、前年度より8人(Δ6.8%)減少した。

表2 理由別長期欠席者数(平成22年度間)

(単位:人)

区 分	理 由				
	総 数	病 気	経済的理由	不登校	その他
平成17年度間	334	124	-	124	86
平成18年度間	355	146	-	128	81
平成19年度間	377	150	-	146	81
平成20年度間	314	120	-	132	62
平成21年度間	262	97	-	117	48
<b>平成22年度間</b>	<b>263</b>	<b>107</b>	<b>-</b>	<b>109</b>	<b>47</b>

(注) 「不登校」とは、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にある者。

「その他」とは、欠席理由が2つ以上あり(例えば「病気」と「不登校」など)、主たる理由が特定できない者や家庭の事情等から長期欠席している者、外国での長期滞在、国内、外旅行等で長期欠席している者等。

## 2 中学校

### (1) 学校数

学校数は65校(本校63校、分校2校)で、前年度と同じであった。

### (2) 学級数

学級数は669学級で、前年度より8学級減少した。

### (3) 生徒数

生徒数は16,620人(男8,507人、女8,113人)で、前年度より143人(Δ0.9%)減少した。

### (4) 教員数(本務者)

教員数は1,457人(男869人、女588人)で、前年度より1人減少した。

なお、教員数の中には、特別支援学級担当教員118人のほか、産休代替教員12人、育児休業代替教員4人、指導主事12人、教育委員会事務局等勤務者・その他4人、留学者・海外日本人学校派遣者17人、休職・休業者39人が含まれる。

本務教員中女性教員の占める割合は40.4%で前年度より0.1ポイント低下した。

表3 学校数・学級数・生徒数・教員数

(単位:校、学級、人、%)

区 分	学 校 数		学 級 数			生 徒 数		教員数(本務)		女性教員 構 成 比 ( )内全国
	総数	うち本校	総数	うち複式	うち特別 支援学級	総数	うち女子	総数	うち女性	
平成18年度	64	63	688	-	92	18,269	8,951	1,512	603	39.9 (41.2)
平成19年度	64	63	695	-	102	18,123	9,035	1,502	601	40.0 (41.4)
平成20年度	64	63	688	1.00	102	17,582	8,801	1,473	602	40.9 (41.5)
平成21年度	65	63	680	-	108	17,344	8,605	1,465	597	40.8 (41.7)
平成22年度	65	63	677	1	116	16,763	8,225	1,458	591	40.5 (41.9)
<b>平成23年度</b>	<b>65</b>	<b>63</b>	<b>669</b>	<b>1</b>	<b>117</b>	<b>16,620</b>	<b>8,113</b>	<b>1,457</b>	<b>588</b>	<b>40.4 (42.1)</b>

### (5) 理由別長期欠席者数(平成22年度間)

平成22年度中に通算して30日以上欠席した生徒は688人で、前年度より25人(3.8%)増加した。主な欠席理由のうち「不登校」は526人で、前年度より36人(7.3%)増加した。

表4 理由別長期欠席者数(平成22年度間)

(単位:人)

区 分	理 由				
	総 数	病 気	経済的理由	不登校	その他
平成17年度間	770	117	1	502	150
平成18年度間	733	132	1	459	141
平成19年度間	738	114	1	458	165
平成20年度間	616	75	1	432	108
平成21年度間	663	91	-	490	82
<b>平成22年度間</b>	<b>688</b>	<b>88</b>	<b>-</b>	<b>526</b>	<b>74</b>

(注) 「不登校」とは、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にある者。

「その他」とは、欠席理由が2つ以上あり(例えば「病気」と「不登校」など)、主たる理由が特定できない者や家庭の事情等から長期欠席している者、外国での長期滞在、国内、外旅行等で長期欠席している者等。

## (6)卒業後の状況

平成23年3月の卒業者は5,568人(男2,834人、女2,734人)で、前年より515人減少した。

表5 状況別卒業生数

(単位:人、%)

	卒業生数		高等学校等進学者	専修学校(高等課程)進学者	専修学校(一般課程)等進学者	公共職業能力開発施設等入学者	就職者	左記以外のもの	高等学校等進学率 ( )内全国	就職率 ( )内全国
	総数	うち女								
平成18年度	6,557	3,191	6,390	19	6	3	48	88	97.5 (97.7)	0.8 (0.7)
平成19年度	6,223	3,005	6,075	9	6	1	39	93	97.6 (97.7)	0.7 (0.7)
平成20年度	6,096	2,961	5,991	14	2	0	28	61	98.3 (97.8)	0.5 (0.7)
平成21年度	5,902	2,971	5,811	6	9	-	20	56	98.5 (97.9)	0.4 (0.5)
平成22年度	6,083	3,068	5,995	13	1	-	15	59	98.6 (98.0)	0.2 (0.4)
<b>平成23年度</b>	<b>5,568</b>	<b>2,734</b>	<b>5,496</b>	<b>5</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>16</b>	<b>51</b>	<b>98.7 (98.2)</b>	<b>0.3 (0.4)</b>

(注) 1 平成18年度の卒業生数の総数には、「死亡・不詳の者」3人を含む。

2 就職進学者は、それぞれの進学先に計上した。

3 高等学校等進学者には、高等学校の本科(全日制、定時制、及び通信制)及び別科、中等教育学校後期課程の本科及び別科、高等専門学校、特別支援学校高等部の本科及び別科への進学者が含まれる。

4 「左記以外のもの」とは、家事手伝いをしている者、外国の高等学校等に入学した者、進路が未定であることが明らかかな者等の合計である。

## ア 進学状況

高等学校等への進学者は5,496人(男2,787人、女2,709人)で、その内訳は、高等学校本科全日制5,124人、高等学校本科定時制103人、高等専門学校169人、高等学校本科通信制52人、特別支援学校高等部本科48人となっている。

高等学校等進学率(卒業生のうち高等学校等進学者の占める比率)は98.7%で、前年より0.1ポイント増加した。

高等学校・高等専門学校等への入学志願者は5,464人(男2,765人、女2,699人)で、その内訳は、高等学校本科全日制5,143人、高等学校本科定時制104人、高等専門学校169人、特別支援学校高等部本科48人となっている。

## イ 就職状況

就職者16人に、高等学校等進学者のうち就職している者2人を加えた就職者総数は18人で、前年より3人増加した。

就職率(卒業生のうち就職者総数の占める比率)は0.3%で、前年より0.1ポイント増加した。

産業別の就職先は、最も多いのが第3次産業で10人と55.6%を占め、次いで第2次産業が6人で33.3%、第1次産業が2人で11.1%となっている。

また、就職地域別では、県内17人、県外1人となっている。県外就職率は5.6%で、前年を1.1ポイント下回った。

表6 産業別就職者数

(単位:人、%)

区分	就職者		第1次産業		第2次産業		第3次産業		その他		県外就職率 ( )内全国
	総数	うち県外	総数	うち県外	総数	うち県外	総数	うち県外	総数	うち県外	
平成18年度	51	1	1	-	24	-	24	1	2	-	2.0 (9.1)
平成19年度	41	2	1	-	9	-	25	2	6	-	4.9 (10.4)
平成20年度	29	3	4	-	8	1	16	2	1	-	10.3 (10.1)
平成21年度	21	4	1	-	3	-	15	2	2	2	19.0 (10.1)
平成22年度	15	1	1	-	4	-	9	1	1	-	6.7 (9.7)
<b>平成23年度</b>	<b>18</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>-</b>	<b>6</b>	<b>-</b>	<b>10</b>	<b>1</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>5.6 (10.7)</b>

### 3 高等学校

#### (1) 学校数

学校数は31校(本校)で、前年度と同じである。  
課程別にみると、全日制27校、定時制2校、併置2校となっている。

#### (2) 学科数

大学科数は50学科(全日制46学科、定時制2学科、併置2学科)で前年度より1学科(全日制)増加した。  
内訳は、普通科が17学科と最も多く、次いで、商業科が6学科、工業科・家庭科・総合学科が各5学科となっている。

#### (3) 生徒数

生徒数は16,649人(男8,206人、女8,443人)で、前年度より523人(Δ3.0%)減少した。  
課程別にみると、全日制16,171人(本科15,982人、専攻科189人)、定時制(本科)478人で、前年度より、全日制は489人(Δ2.9%)減少、定時制は34人(Δ6.6%)減少した。  
本科の入学状況についてみると、本科の入学者5,311人のうち、他県所在の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者は137人で入学者全体の2.6%(前年度3.2%)を占め、過年度中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者は27人で入学者全体の0.5%(前年度0.4%)を占めている。

#### (4) 教員数(本務者)

教員数は1,435人(男1,029人、女406人)で、前年度より41人減少した。  
設置者別にみると、公立は1,149人(男832人、女317人)で前年度より41人減少し、私立は286人(男197人、女89人)で前年度と同じである。

表7 学校数・生徒数・教員数

(単位:校、人、%)

区分	学校数			生徒数			教員数(本務者)			教員1人当たり生徒数 ( )内全国
	総数	公立	私立	総数	男	女	総数	男	女	
平成18年度	31	24	7	18,665	9,415	9,250	1,589	1,137	452	11.7 (14.1)
平成19年度	31	24	7	18,012	9,128	8,884	1,551	1,097	454	11.6 (14.0)
平成20年度	31	24	7	17,698	8,971	8,727	1,530	1,087	443	11.6 (14.0)
平成21年度	31	24	7	17,181	8,630	8,551	1,490	1,055	435	11.5 (14.0)
平成22年度	31	24	7	17,172	8,503	8,669	1,476	1,039	437	11.6 (14.1)
<b>平成23年度</b>	<b>31</b>	<b>24</b>	<b>7</b>	<b>16,649</b>	<b>8,206</b>	<b>8,443</b>	<b>1,435</b>	<b>1,029</b>	<b>406</b>	<b>11.6 (14.1)</b>

#### (5) 卒業後の状況

平成23年3月の卒業生は5,468人(男2,780人、女2,688人)で、前年より19人減少した。

表8 状況別卒業生数

(単位:人、%)

区分	卒業生数		大学等 進学者	専修学校 (専門課程) 進学者	専修学校 (一般課程) 等入学者	公共職業 能力開発 施設等入 学者	就職者	一時的 な仕事に 就いた者	左記以外 のもの	大学等 進学率 ( )内全国	就職率 ( )内全国
	総数	うち女									
平成18年度	6,240	3,156	2,675	1,326	397	71	1,497	85	177	42.9 (49.3)	24.2 (18.0)
平成19年度	6,085	3,016	2,669	1,142	492	46	1,496	79	151	43.9 (51.2)	24.9 (18.5)
平成20年度	5,719	2,808	2,493	1,125	456	49	1,398	54	143	43.6 (52.8)	24.7 (19.0)
平成21年度	5,752	2,843	2,505	1,003	573	37	1,394	77	157	43.6 (53.9)	24.3 (18.2)
平成22年度	5,487	2,688	2,467	1,000	577	72	1,133	87	151	45.0 (54.3)	20.7 (15.8)
<b>平成23年度</b>	<b>5,468</b>	<b>2,688</b>	<b>2,399</b>	<b>1,057</b>	<b>510</b>	<b>64</b>	<b>1,205</b>	<b>72</b>	<b>156</b>	<b>43.9 (53.9)</b>	<b>22.2 (16.3)</b>

(注) 卒業生数の総数には、平成18年度12人、平成19年度10人、平成20年度1人、平成21年度6人、平成23年度5人の「死亡・不詳の者」を含む。

## ア 進学状況

卒業者のうち、大学等進学者は2,399人(男1,128人、女1,271人)で、その内訳は、大学(学部)が1,819人

で、大学等進学者の75.8%を占め、次いで、短期大学(本科)が423人で17.6%、高等学校専攻科が154人で6.4%、大学・短期大学の通信教育部が3人で0.1%となっている。

大学等進学率(卒業者のうち、大学等進学者の占める比率)は43.9%(男40.6%、女47.3%)で、前年を1.1ポイント下回った。

大学(学部)・短期大学(本科)への平成23年3月卒業者の入学志願者は2,863人(男1,430人、女1,433人)、入学志願率(卒業者に対する入学志願者の比率)は52.4%で前年を1.1ポイント下回った。

大学(学部)・短期大学(本科)への入学者は2,242人(男1,048人、女1,194人)、入学率(入学志願者に対する入学者の比率)は78.3%で、前年を0.6ポイント下回った。

また、専修学校(専門課程)進学者は1,057人(男454人、女603人)、専修学校(一般課程)等入学者は、510人

表9 大学・短期大学への入学志願率・入学率

(単位：%)

区分	入学志願率						入学率					
	全国平均			鳥取県平均			全国平均			鳥取県平均		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
平成18年度	57.4	58.7	56.0	48.6	46.6	50.5	85.3	81.6	89.2	82.2	78.6	85.6
平成19年度	58.7	60.1	57.3	50.3	48.5	52.0	86.4	82.8	90.4	80.3	75.0	85.4
平成20年度	60.1	61.3	58.9	49.7	48.2	51.2	87.2	83.5	91.1	80.5	76.4	84.6
平成21年度	61.2	62.3	60.0	51.7	51.9	51.6	87.4	83.6	91.4	79.5	72.4	86.7
平成22年度	61.8	62.9	60.6	53.5	54.1	52.9	87.2	83.4	91.2	78.9	73.0	85.3
<b>平成23年度</b>	<b>61.2</b>	<b>61.9</b>	<b>60.5</b>	<b>52.4</b>	<b>51.4</b>	<b>53.3</b>	<b>87.3</b>	<b>83.5</b>	<b>91.3</b>	<b>78.3</b>	<b>73.3</b>	<b>83.3</b>

## イ 就職状況

就職者1,205人に、大学等進学者、専修学校(専門課程)進学者、専修学校(一般課程)等入学者、公共職業能力開発施設等入学者のうち就職している者9人を加えた就職者総数は1,214人(男720人、女494人)で、前年より78人増加した。

就職率(卒業者のうち就職者総数の占める比率)22.2%で、前年を1.5ポイント上回った。

職業別にみると、生産工程従事者が最も多く374人で30.8%を占め、次いでサービス職業従事者が250人で20.6%、販売従事者が159人で13.1%となっている。

産業別にみると、製造業が最も多く384人で31.6%を占め、次いで卸売業、小売業が181人で14.9%、宿泊業、飲食サービス業が120人で9.9%を占めている。

就職地域別にみると、県内925人、県外289人で就職者総数の23.8%となり、前年を0.5ポイント下回った。

表10 県外就職者数

(単位：人、%)

区分	就職者数	うち 県外 就職者 数													
		総数	構成比	( )内全国	大阪	島根	東京	岡山	兵庫	広島	神奈川	愛知	京都	山口	その他
平成18年度	1,507	314	20.8	(19.3)	76	44	25	38	30	16	7	12	20	15	31
平成19年度	1,513	323	21.3	(20.2)	96	26	26	31	35	27	2	14	13	14	39
平成20年度	1,413	354	25.1	(20.8)	109	38	20	36	22	40	5	18	13	15	38
平成21年度	1,399	386	27.6	(21.9)	115	28	32	30	38	40	3	17	9	15	59
平成22年度	1,136	276	24.3	(19.6)	59	32	20	22	34	45	8	8	13	7	28
<b>平成23年度</b>	<b>1,214</b>	<b>289</b>	<b>23.8</b>	<b>(19.0)</b>	<b>56</b>	<b>62</b>	<b>17</b>	<b>25</b>	<b>28</b>	<b>35</b>	<b>3</b>	<b>8</b>	<b>9</b>	<b>5</b>	<b>41</b>

## 4 特別支援学校

### (1) 学校数及び在学者数

学校数は10校で、前年度と同じである。設置者別にみると、国立1校、公立9校となっている。  
在学者は832人(男520人、女312人)で、前年度より7人増加した。

### (2) 教員数(本務者)

教員数は632人(男230人、女402人)で、前年度より13人増加した。

## 5 幼稚園

### (1) 園数

幼稚園数は39園で前年度同じである。  
設置者別にみると、国立1園、公立10園、私立28園となっている。

### (2) 学級数

学級数は228学級で、前年度より4学級増加した。  
1学級当たりの幼児数は19.1人(前年度20.0人)で、前年度より0.9人減少した。

### (3) 在園者数

在園者は4,344人(男2,206人、女2,138人)で、前年度より142人減少した。  
就園率(小学校第1学年に対する幼稚園修了者数の比率)は33.6%(前年度32.5%)で、  
前年度より1.1ポイント増加した。

### (4) 教員数(本務者)

教員数は439人で、前年度より5人増加した。  
教員1人当たりの幼児数は9.9人(前年度10.3人)で、前年度より0.4人減少した。

## 6 専修学校

### (1) 学校数

学校数は23校で、前年度と同じである。  
設置者別にみると、公立4校、私立19校となっている。

### (2) 課程・学科数

学科数は40学科で、課程別にみると、高等課程6学科、専門課程28学科、一般課程6学科となっている。

### (3) 生徒数

生徒数は1,856人(男723人、女1,133人)で、課程別にみると、高等課程254人、専門課程1,276人、  
一般課程326人となっている。

### (4) 教員数(本務者)

教員数は178人(男88人、女90人)で、前年度より2人減少した。

### (4) 卒業生数(平成22年度間)

卒業生数は759人(男324人、女435人)で、課程別にみると、高等課程91人、専門課程426人、一般課程  
242人となっている。

## 7 各種学校

### (1) 学校数

学校数は13校で、前年度と同じである。  
設置者別にみると、公立1校、私立12校となっている。

### (2) 課程数

課程数は13課程で、内訳は、自動車操縦9、予備校3、保育士養成1となっている。

### (3) 生徒数

生徒数は1,356人(男812人、女544人)で、前年度より102人増加した。

### (4) 教員数(本務者)

教員数は358人(男330人、女28人)で、前年度より3人減少した。  
設置者別にみると公立4人、私立354人となっている。

### (4) 卒業者数(平成22年度間)

卒業者数は17,194人(男10,658人、女6,536人)となっている。

## 8 不就学学齢児童生徒

### (1) 就学免除・猶予者

学齢児童(6歳～11歳)・学齢生徒(12歳～14歳)のうち、就学免除者はいなかった。  
また、就学猶予者は、学齢児童5人(男4人、女1人)となっている。

### (2) 死亡者

平成22年度間に死亡した者は6人(学齢児童5人、学齢生徒1人)となっている。